

 株式会社 東洋製作所  
証券コード 6443

第 **70** 期

**株 主 通 信**

平成20年4月1日～平成21年3月31日

「環境保全」「省エネ」をキーワードに、  
最適な商品、システム、サービスを  
提供していきます。

代表取締役社長

服部 豊



**Q** 通期の業績について  
お聞かせください。

厳しい経営環境にもかかわらず、売上高、営業  
利益、経常利益で前年度を上回りました。

当期の連結会計年度における業績は、受注高が  
23,448百万円（前年度比0.8%増）、売上高が24,149  
百万円（前年度比8.0%増）と増収となり、損益の面では  
営業利益が826百万円（前年度比80.5%増）、経常利益  
が762百万円（前年度比96.4%増）と大幅な改善を実現  
しました。当期純利益は、税金等の負担が増加したため、  
380百万円（前年度比19.4%減）にとどまりました。

**Q** どのような1年でしたか、  
またどのような取り組みが功を奏したと  
いえますか。

社内カンパニー制のもと事業責任の明確化を図り、  
収益拡大と黒字体質の確保・定着を図りました。

上半期は、鋼材・原油等素材価格の高騰による景気の減  
速傾向が強まり、下半期は米国発の金融危機が世界の実  
体経済に深刻な影響を及ぼしました。わが国でも景気のけん  
引役であった輸出や設備投資が大きく減少するとともに、  
急激な円高により各企業の収益が大幅に悪化しました。

当社に関連の深い食品加工業界、自動車業界、建設業  
界、冷凍・空調設備業界においても投資の抑制・減退に  
見舞われ、引き続き厳しい状況が続いています。

当社グループは、平成19年度から平成21年度を対象と  
した「71期中期経営計画」の途上でありましたが、前期  
から導入した社内カンパニー制のもと事業責任の明確化を  
図り、収益拡大と黒字体質の確保・定着を目指しており、  
そうした緊張感が、環境保全や省エネ関連の製品・市場  
分野に経営資源を集中することにつながり、新製品開発  
と採算重視の積極的な営業活動に結実したものと考えて  
います。工場のレイアウト改善による生産性向上やムダの  
削除等による原価低減も成果となって現れました。結果と  
して、「71期中期経営計画」の平成21年度目標を1年前倒  
しでほぼ達成することができました。

**Q** 今後の重点課題となる取り組みについて  
お聞かせください。

「良いものを安く早くお客様に提供する」こと  
に全力を傾けます。

当社は、熱総合エンジニアリング会社として企画、施  
工、製品販売、サービスまでの一貫事業を確立すると

もに、「環境保全」「省エネ」をキーワードとして、今後も他社を凌駕する商品、システム、サービスをお客様に提供していきます。

目先の経済状況は「百年に一度」の暴風圏の中にあり、一寸も気を緩めることはできませんが、この荒波を乗り切するためにも「74期中期経営計画」を今期（71期）からスタートさせ、従来の3年計画を4年間の計画として取り組むことにしました。

すでに各カンパニーには具体的な施策を提起していますが、基本は「良いものを安く早くお客様に提供する」ことに尽きると思います。この基本を実践するため、①情報を早めにキャッチし、すばやく的確に行動すること、②生産性の向上、③一品一様な製品から、商品を販売への意識変革、④ムダを排除し、コストダウンを加速、⑤人材の活性化、の5項目を全社で実施しています。

状況を加味しつつ、売上高は22,000百万円（前年度比8.9%減）、営業利益は480百万円（前年度比41.9%減）、経常利益は350百万円（前年度比54.1%減）当期純利益は200百万円（前年度比47.4%減）を見込んでいます。

当社は、このほど環境の国際標準規格であるISO 14001の認証を取得しました。これを契機にさらに一層の品質向上および環境保護に取り組んでいきます。

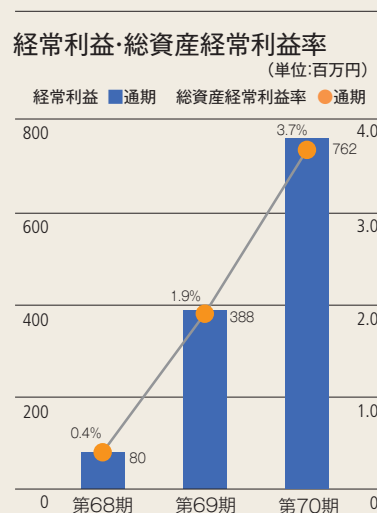
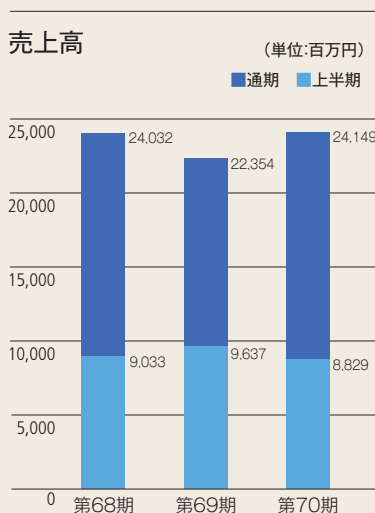
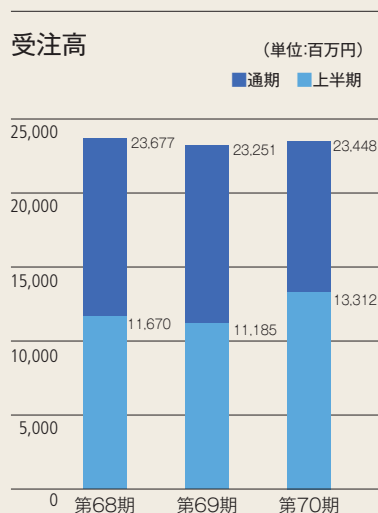
株主の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



**Q** 通期の見通しに加え、株主様に一言いただけますか。

**ISO14001の認証取得を機会に、品質向上および環境保護に力を注ぎます。**

今期の業績予想には難しいものがあります。さまざまな

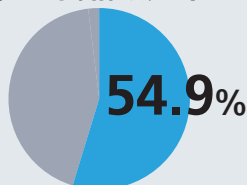


## エンジニアリング事業部門

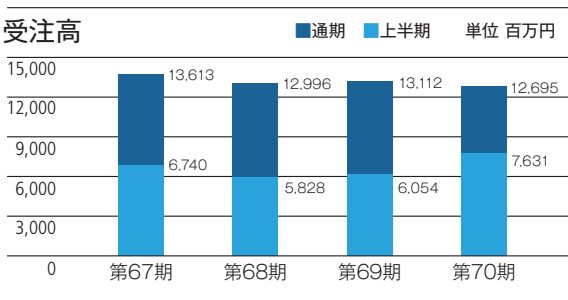
エンジニアリング事業では、食品製造および流通、化学、機械などの業界をターゲットに、冷熱・環境エンジニアリング（低温物流、食品加工、環境試験、製造工場プロセスなど）の設計から製作、施工、保守サービスまでを提供。とりわけ、脱フロン化の推進など環境保全・省エネ関連の技術力を活かした製品開発を通じて、広く社会に貢献し、高い評価をいただいています。

### 売上高構成比率

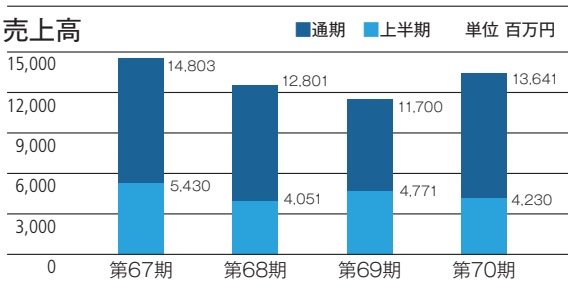
売上高  
**13,641**百万円



### 受注高



### 売上高



## 通期の事業概況

当期の事業環境は、当社に関連の深い食品加工業界では食品の農薬残留事件の影響による低迷、自動車業界では世界的景気の悪化に伴う急激な業績悪化による設備投資の繰り

延べもあり、非常に厳しい状況にありました。

このような事業環境の中、地球環境保護の面から当社が強みのある市場・製品へ経営資源を集中させ、営業部門、技術部門、施工部門、サービス部門が一体となり事業活動に邁進しました。

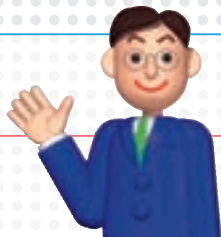
当期は、自然冷媒を使用した設備では、炭酸ガス／アンモニア設備を国内最大級の製氷工場設備である北海道根室漁業協同組合に、超低温実験室設備を国立研究所に納入しております。

さらに、ドライアイスの製造工程で放出されていた炭酸ガスを回収し液化する設備をドライアイスメーカーに初めて納入するなど、炭酸ガス液化回収設備についても従来のビール工場以外の分野に積極的に拡販しております。

この結果、当期の売上高は13,641百万円（前年度11,700百万円）、営業利益は273百万円（前年度109百万円）となりました。

# FOCUS!

エンジニアリング事業部門



CO<sub>2</sub>/NH<sub>3</sub>  
自然冷媒システム

「C-LTS」  
シリーズ

## 自然冷媒を使った「C-LTSシリーズ」を 北海道根室漁業協同組合に納入

冷凍の仕組みには、温度移動の重要な媒体役として冷媒が大切な働きをしています。しかし、これまで冷媒として使われてきた物質には、オゾン層の破壊や地球温暖化の進行に影響を及ぼすものも少なくありません。当社が開発した「C-LTSシリーズ」\*は、冷媒に炭酸ガス（CO<sub>2</sub>）とアンモニア（NH<sub>3</sub>）による自然冷媒の新しい組み合わせを実現、フロン系冷媒よりも熱伝導率が10~20%も優れる「環境に優しい冷熱源システム」として注目されています。

このほど、北海道根室漁業協同組合花咲製氷・冷凍第一工場に、国内最大級となる「C-LTSシリーズ」の製氷・貯氷・凍結設備（製氷能力：80トン／日、貯氷能力：8,000トン、冷凍能力：5トン／16時間）が納入されました。時代を先取りするモデル工場として地域社会からも大きな期待が寄せられています。

※C-LTS……CO<sub>2</sub>-Low Temperature Systemの略



冷凍装置の冷媒には20年ほど前まではフロンガスR-22が広く使用されていました。その後、R-22にはオゾン層破壊の性質があると分かり、代替フロンに置き換わっていきませんが、代替フロンも地球温暖化係数が高く、温室効果ガスと認定されています。

東洋製作所だから  
もっとエコ。

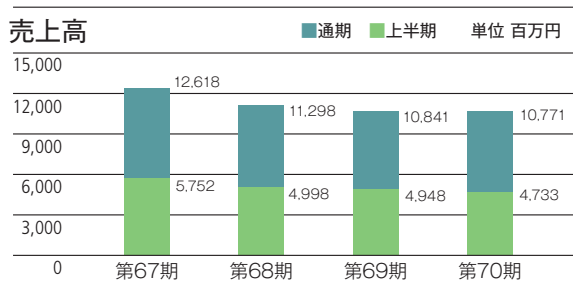
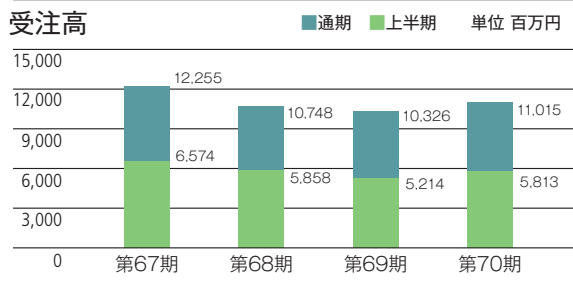
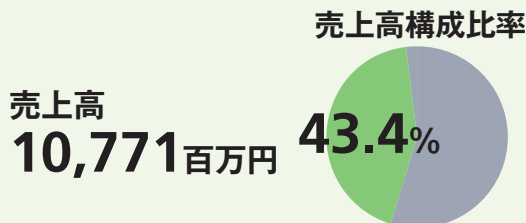


「C-LTSシリーズ」で使用している冷媒は、炭酸ガスとアンモニア。どちらも自然界に存在することから自然冷媒と呼ばれ、オゾン層破壊の性質はありません。地球温暖化係数もアンモニアは0、炭酸ガスは1で、代替フロンR-404Aの3,780に比べ非常に小さいのが特長です。

東洋製作所は、今後も地球環境に優しい自然冷媒システムを提案していきます。

## 機器事業部門

機器事業では、主にビルおよび工場向けに、空調機器や冷媒機器類の製造販売を手掛けています。さらに据付試運転はもちろんのこと、改修や保守まで、お客様にとって快適な環境を生み出し、維持するために必要なサービスをワンストップで提供。全国に展開している販売・サービス網は、その幅広い品揃えと高度な技術力によって、厚い信頼をいただいています。



## 通期の 事業概況

当期の事業環境は、競争激化による製品価格の下落に一層拍車がかかるとともに、鋼材・銅・アルミニウムなどの素材価格の急激な変動もあり、さらには当社に関連の深い

建設業界、冷凍・空調設備業界においても投資の抑制・減退に見舞われ非常に厳しい状況にありました。

このような事業環境の中、前期から導入したカンパニー制度をベースに営業から設計、製造、販売、サービスまでの一体運営化を継続しました。

これにより、営業活動の効率化、設計改善に向け標準化・共通化、生産性の向上などを図ると同時に、当社が得意とする製品分野への集中と選択を図り、さらなるコストダウンに注力した事業活動に邁進しました。

当期は、拡販に努めている直膨エアハン「ダイレクトX」\*の販売が順調に推移し、空調機器、大形冷凍機の保守サービス、リニューアル工事等の事業拡大にも積極的に取り組みながら、採算性の改善にも注力しました。

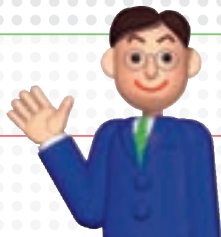
また、サービス技術力の保持・向上を図り「環境対応力を増したサービス事業」を合言葉に鋭意取り組みました。

この結果、当期の売上高は10,771百万円（前年度10,841百万円）、営業利益は548百万円（前年度344百万円）となりました。

※ダイレクトX……1台で除塵、全熱交換、冷却・加熱、加湿を行う直膨エアハンドリングユニット。

# FOCUS!

機器事業部門



空調機器の  
省エネ&リニューアル  
ソリューション  
「Dr.エア―」

## 清浄な空気をいつでも 高効率・省エネルギー・省メンテナンスで

空調機器の計画耐用年数はおよそ15年。オフィス、病院、ホテルなど機器の使用状況や設置環境によって異なるものの、歳月の経過とともに機器の劣化や磨耗は進み、運転効率の低下に反して運用コストは確実に膨らんでいきます。

空調システムのよりよいライフサイクルづくりをお手伝いする「Dr.エア―」。空調システム全体のベストソリューションをめざす東洋製作所の省エネコンサルティングです。コンサルティング開始→劣化診断→省エネ提案→整備・改修・更新工事→メンテナンスが一体となっています。



「Dr.エア―」は東洋製作所だからできる、空調機器の省エネコンサルティングサービスです。お客様の空調システム全体の現状を把握して、最適なソリューションをご提案。送風動力を最大31.1%削減するこ

東洋製作所だから  
もっとエコ。



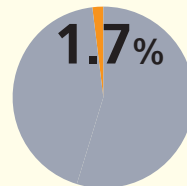
とができる次世代型空調機器「新セーブ王」をはじめとして、トータルで省エネ対策をご提案することが可能です。今後も当社ならではの地球に優しい空調機器をお客様に提案してまいります。

## その他事業部門

その他事業では、人材派遣、損害保険代理店業務および福利・厚生サービスなどの業務をおこなっています。当期の売上高は417百万円（前年度362百万円）、営業利益は4百万円（前年度4百万円）となりました。

売上高  
417百万円

売上高構成比率



(注) 部門別事業の概況に記載している全社売上高には、内部取引680百万円が含まれており、連結損益計算書の売上高とは一致していません。

## 01

### ホームページリニューアル

本年4月22日(水)、当社のホームページをリニューアル致しました。今回は、一般ユーザーにも興味を持って頂くためのリニューアルで「冷熱技術あれこれ」や「冷熱・環境用語辞典」「製品を事例から探す」等の新コーナーを設け、イラストを交えてわかりやすく掲載しています。また、短い時間で当社を説明する動画や英語表記の会社案内も追加致しました。新機能満載のホームページを是非ご覧になって下さい。



<http://www.h.toyo-ew.co.jp/>

## 02

### フーテック 関西 2009

本年5月20日(水)から5月23日(土)の4日間、「フーテック 関西 2009」がインテックス大阪で開催されました。テーマは「心でつなぐ! 食の安全と安心!」です。当社は「Mr. エコ ヒート」等を展示し、当社の製品が「安全と安心、さらにエコ!」であることをアピールしました。

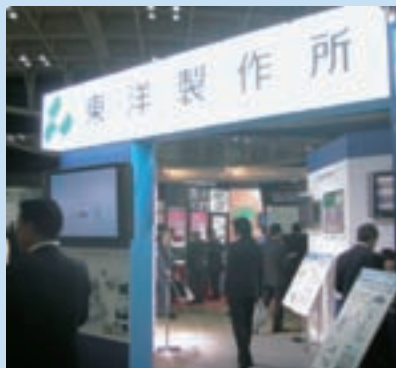


当社展示ブースの様子

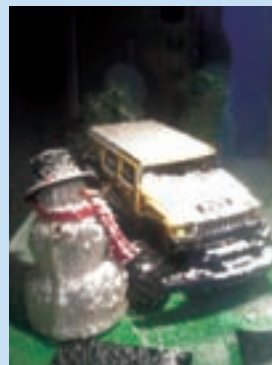
## 03

### 人とくるまのテクノロジー展

本年5月20日(水)から5月22日(金)の3日間、「人とくるまのテクノロジー展」がパシフィコ横浜で開催されました。当社は「人工降雪装置」、「太陽近似光日射設備」を出展しました。来場者の方は、実際に人工雪を手にとったり、サングラスをかけて太陽光を浴びたりと、大変好評でした。開催初日は25℃を越える夏日でしたが、当社の人工雪をご覧になった来場者の方は少し涼しげな気分となったようです。



当社展示ブースの様子

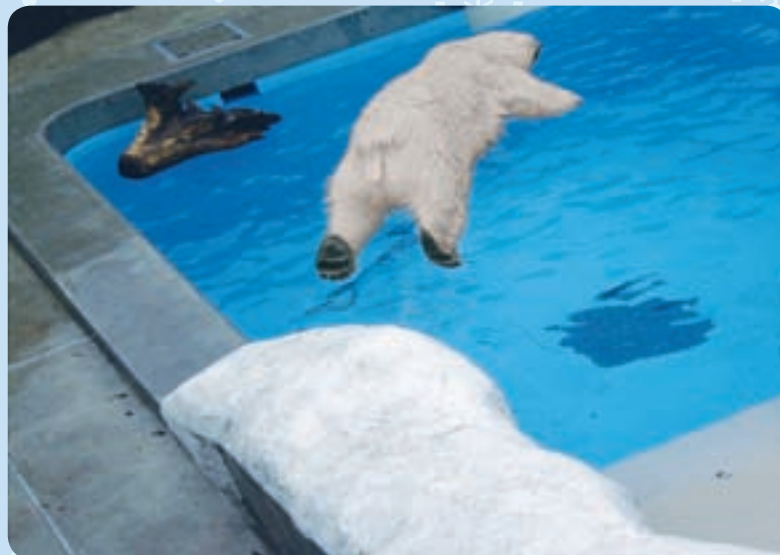


人工降雪装置のデモンストレーション

# 東洋製作所の 技術で楽しむ

Vol.02

## 真夏に降る雪 シロクマも 大喜び！



冷熱技術を基にした数多くの実験や研究を活かし、業界に先駆け人工降雪設備を実用化している東洋製作所では、長年の研究開発により様々な雪を作り出す技術を持っています。使用目的により、降雪形式や雪質（粉雪・ぼたん雪・湿った雪・結晶雪など）を再現できる特長を活かして、スキー場だけでなく、雪害対策や科学教育・研究実験用、雪を使うイベント会場など、多くの用途で活用されています。

多くの用途の一つとして、秋田県男鹿市の「男鹿水族館GAO」では、人気者の北極グマ・豪太（ごうた）くんのシロクマ舎へ人工造雪機を設置。屋外運動場を本来の生育環境である北極に近づけることによりストレス解消と夏バテを防ぎ、豪太くんのイキイキと動き回る姿を来場者に楽しんでもらえます。

当社の技術は、動物園で暮らす動物の成育環境作りにも応用されています。

# 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	第70期	第69期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,818	15,979
固定資産	3,117	3,803
資産合計	20,936	19,783
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,842	9,671
固定負債	3,410	3,382
負債合計	14,252	13,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,581	6,290
資本金	2,334	2,334
資本剰余金	1,470	1,470
利益剰余金	2,779	2,488
自己株式	△2	△2
評価・換算差額等	92	421
少数株主持分	9	16
純資産合計	6,683	6,729
負債及び純資産合計	20,936	19,783

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	第70期	第69期
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
売上高	24,149	22,354
売上原価	19,914	18,505
売上総利益	4,235	3,849
販売費及び一般管理費	3,408	3,391
営業利益	826	458
営業外収益	70	72
営業外費用	135	142
経常利益	762	388
特別利益	—	475
特別損失	—	344
税金等調整前当期純利益	762	518
法人税、住民税及び事業税	373	302
過年度法人税等	62	—
法人税等調整額	△53	△256
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	0
当期純利益	380	471

## 連結株主資本等変動計算書 第70期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		
平成20年3月31日残高	2,334	1,470	2,488	△2	6,290	420	1	16	6,729
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△89		△89				△89
当期純利益			380		380				380
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△298	△30	△6	△335
連結会計年度中の変動額合計	—	—	290	△0	290	△298	△30	△6	△45
平成21年3月31日残高	2,334	1,470	2,779	△2	6,581	122	△29	9	6,683

# 単体財務諸表(要旨)

# 会社の概要・株式の概況

貸借対照表		(単位:百万円)	
科目	第70期 平成21年3月31日現在	第69期 平成20年3月31日現在	
<b>資産の部</b>			
流動資産	17,579	15,517	
固定資産	3,212	3,904	
資産合計	20,792	19,422	
<b>負債の部</b>			
流動負債	10,737	9,432	
固定負債	3,410	3,382	
負債合計	14,148	12,814	
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,522	6,187	
資本金	2,334	2,334	
資本剰余金	1,470	1,470	
利益剰余金	2,720	2,384	
自己株式	△2	△2	
評価・換算差額等	122	420	
純資産合計	6,644	6,607	
負債及び純資産合計	20,792	19,422	

損益計算書		(単位:百万円)	
科目	第70期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第69期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	
売上高	23,966	21,350	
売上原価	20,084	17,928	
売上総利益	3,882	3,422	
販売費及び一般管理費	3,033	3,053	
営業利益	848	368	
営業外収益	90	90	
営業外費用	134	142	
経常利益	804	316	
特別利益	—	475	
特別損失	—	344	
税引前当期純利益	804	447	
法人税、住民税及び事業税	369	279	
過年度法人税等	63	—	
法人税等調整額	△53	△258	
当期純利益	425	426	

会社概要		平成21年3月31日現在
社名	株式会社東洋製作所	TOYO ENGINEERING WORKS. LTD.
設立	昭和27年2月16日	
資本金	23億34百万円	
本社所在地	東京都品川区東品川四丁目11番34号	
従業員数	710名(連結)	
上場証券取引所	東京証券取引所市場第2部	
証券コード	6443	
会計監査人	新日本有限責任監査法人	
関連会社	TOYO CR SDN. BHD.、株式会社トーマス、東洋エキスパート株式会社、東洋空調工程股份有限公司	

経営体制		平成21年6月26日現在
代表取締役社長	服部 豊	管理本部長および監査室管掌
常務取締役 常務執行役員	永塚 史人	三菱重工業株式会社 執行役員冷熱事業本部長
取締役	有原 正彦	株式会社ニチレイ 取締役常務執行役員
取締役	三田 勇太郎	機器・大形冷機サービスカンパニー長兼サービス事業本部長
取締役 執行役員	山本 泰嗣	エンジニアリングカンパニー長
取締役 執行役員	吉井 一	機器・大形冷機サービスカンパニー 副カンパニー長兼機器事業本部長兼大和工場長
取締役 執行役員	久良知 健	常勤
監査役	小金丸俊美	三菱重工業株式会社 監査役
監査役	中本 興伸	三菱重工業株式会社 資金部長
監査役	小口 正範	三菱重工業株式会社 資金部長
※上記以外、取締役を兼任しない執行役員は次のとおりです。		
執行役員	赤間 正伸	エンジニアリングカンパニー 副カンパニー長
執行役員	小澤 進	関西支社長
執行役員	二見 昌明	管理本部副本部長
執行役員	渡辺 良介	管理本部本部長補佐
執行役員	岩尾 良雄	エンジニアリングカンパニー 副カンパニー長

株式の状況		平成21年3月31日現在
発行可能株式総数		80,000,000株
発行済株式総数		22,296,204株
株主数		2,013名
●大株主		
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	8,295	37.2
株式会社ニチレイ	2,465	11.1

(注) 発行済株式総数の10分の1以上の数の株式を有する大株主のみの表示です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
期末配当金受領株主確定日	3月31日	上場証券取引所	東京証券取引所
中間配当金受領株主確定日	9月30日	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.h.toyo-ew.co.jp/">http://www.h.toyo-ew.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)
定時株主総会	毎年6月		
同総会権利行使株主確定日	3月31日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定（*）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

## 株式会社東洋製作所

〒140-8635 東京都品川区東品川四丁目11番34号  
ホームページ：<http://www.h.toyo-ew.co.jp/>  
TEL 03-3474-2126 FAX 03-3474-2139



この株主通信は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しております。